

議第1号

公益社団法人としての最初の年度に係る事業報告

〔平成23年10月 3日より
平成24年 3月31日まで〕

1. 会員の異動

本年度中の入会並びに退会及び会員数は次のとおりである。

	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員	計
平成23.10.3現在	38	4,421	200	214	4,873
入会	0	15	1	1	17
退会	0	118	7	8	133
転格	0	0	0	0	0
死亡	0	2	0	—	2
平成24.3.31現在	38	4,316	194	207	4,755

2. 役員、会長アドバイザー会議委員の現員

理事 24名（内、会長1名、副会長3名、常務理事6名）

監事 3名

会長アドバイザー会議委員 65名

3. 総会

公益社団法人移行認定の登記完了に伴い、第1回 臨時総会を次のとおり開催した。

日時 平成23年11月18日（金） 午前10時30分より

場所 東京大学 安田講堂 3階ホール

出席者数 2,953名（委任状を含む）

議事または承認事項

- 1) 社団法人（特例民法法人）としての最終年度に係る事業報告について
- 2) 社団法人（特例民法法人）としての最終年度に係る収支計算書ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について

3) 定款の変更について

4) 役員の一部改選等について

議事または報告事項

5) 公益社団法人としての最初の事業年度に係る事業計画書について

6) 公益社団法人としての最初の事業年度に係る収支予算書について

7) 細則の変更について

8) 公益社団法人日本都市計画学会の最初の役員

4. 役員会並びに会長アドバイザー会議

理事会 5回

会長アドバイザー会議 1回

5. 機関誌刊行

「都市計画」 第293号

平成23年10月25日

第294号

平成23年12月25日

第295号

平成24年 2月25日

「都市計画論文集」No.46-2・3 (CD・ROM)

平成23年10月25日

「都市計画論文集」No.46 (冊子)

平成23年10月25日

6. 学術研究論文発表会の開催

日 時 平成23年11月19日、20日

場 所 東京大学本郷キャンパス

研究発表 152題、他に都市計画報告会開催、WS 4企画開催

参加人数 447名

7. 都市計画セミナーの開催

日 時 平成24年 1月17日、18日

場 所 早稲田大学国際会議場

メインテーマ「事前復興による都市づくり

—都市防災グランドデザインを考える—

参加人数 162名

8. まちづくり懇話会等の開催

1) まちづくり懇話会

第122回

「東日本大震災から1年—真の復興に向けた課題」

平成24年 3月14日

2) 見学会

第20回

「歴史と文化を生かした都市づくり～丸の内駅舎復原工事及び三菱一号館～」

平成24年 2月15日

9. 都市計画メールニュース配信

No.1,159～No.1,303

10. 都市計画 CPD の推進

CPD 会員数 9,993名

CPD ニュース No.61～No.66号発行

認定プログラム 70件

11. 特別委員会の活動

1) 四川大地震復旧・復興調査特別委員会

平成23年12月27日～31日にシンポジウム・意見交換会を現地で開催した。

テーマ：「広域巨大災害からの復興：四川大地震と東日本大震災」

最終調査研究報告書を作成。

2) 低炭素社会実現に向けた特別委員会

本委員会、自治体WG、民間WG、大学WG、つくばエクスプレス沿線都市低炭素都市づくりWGにおいて、それぞれ活発に調査研究活動を実施した。

平成 24 年 2 月 9 日（木）低炭素型地域・都市づくりシンポジウムを開催した。

3) 防災・復興問題研究特別委員会

平成 23 年 3 月 14 日（月）に新たに設置した。

緊急に対応・活動（報告会開催・合同調査団参加・社会への提言等）を行った。

3 部会を設置し、活発に活動した。

中間報告会開催

開催期日：平成 23 年 11 月 19 日（土）

場 所：東京大学工学部 2 号館

参加人数：約 300 名

12. 研究交流助成実施

研究交流特別委員会

平成 23 年度の助成は共同研究組織（種別 A・B）と社会連携交流組織（種別 C・D）の 2 つの組織分野で、合計 10 件、助成金総額 500 万円と決定し、8 月～10 月初旬まで公募を実施した。

本年度は、東日本大震災の発災を受けて、防災・復興問題に関連するテーマを指定した公募も併せて実施した。

A 2 件、B 0 件、C 5 件、D 3 件が採択されて、組織を整備し活動を開始した。

※種別 A・C が助成あり、種別 B・D は助成なし。

13. 学際的・国際的学術交流

1) 全国市長会と共催でシンポジウムの開催

テーマ：「防災まちづくり」

開催期日：平成 24 年 2 月 21 日（火）13：00～17：00

参加人数：約 210 名

2) 特別講演会の開催

テーマ：「東アジアにおけるメガ・アーバン・リージョンの将来像」

開催期日：平成 23 年 10 月 3 日（月）

参加人数：約 40 名

テーマ：「ドイツのエネルギー政策と地域づくり」

開催期日：平成 23 年 11 月 7 日（月）

参加人数：約 30 名

3) 中国南通市視察団と国際委員長他と意見交換会

開催期日：平成 23 年 11 月 7 日（月）

14. 委員会活動

受託研究調査に関して、下記の委員会を設置し実施した。

- ・平成 23 年度サステイナブル都市再開発促進モデル事業（日立駅前地区）業務
- ・低炭素型地域・都市づくりシンポジウムの実施
- ・大手町まちづくりビジョン委員会、大手町まちづくりグランドデザイン策定に関連した検討業務

- ・常盤橋地区の計画のあり方に関する検討業務
- ・大手町都市再生プロジェクト検討調査（その3）
- ・北上市、大槌町における生活支援のためのコーディネート事業（地域づくり支援事業国庫補助金）
- ・低炭素に配慮した都市づくり実行モデル検討調査 その3

15. 創立 60 周年記念事業活動

2年前から創立 60 周年記念事業実行委員会を組織して準備を進めてきた。

平成 23 年 11 月 18 日（金）記念式典・シンポジウム・交流会を東京大学安田講堂他で開催した。

テーマは「過去を振り返り、未来を見据える」

記念式 式典、学生提案競技表彰、自治体優秀まちづくりグッズ賞表彰

「大宮駅東口 人の流れを生み出すおもてなし空間の創出」

最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品、さいたま市長賞 2 作品

自治体優秀まちづくりグッズ賞 10 件、佳作 20 件

全体での参加者は、約 200 名

記念シンポジウム開催 ～未来へつなぐ 日本の都市の可能性～

話題提供：マルク・ブルディエ、尾関憲一、小山薫堂 3 氏の講演

フリートーク：若手・学生ワークショップからの挑戦

参加者は、約 600 名

記念交流会

東京大学山上会館

参加者は、約 160 名

平成 23 年 11 月 19 日（土）記念パネルディスカッションを開催した。

テーマは、「都市計画」の志向する未来、「都市計画学」の拓く道

会場は、東京大学工学部 2 号館

参加者は、約 300 名

学会誌「都市計画」293 号 60 周年記念号：平成 23 年 10 月発刊

記念出版「60 プロジェクトによむ 日本の都市づくり：平成 23 年 11 月発刊

16. 本部・支部活動

平成 23 年 9 月 27 日に内閣府から、公益社団法人への移行の認定があり、10 月 3 日付けで社団法人（特例民法法人）の清算と公益社団法人日本都市計画学会への移行登記を完了した。

関西支部は、支部設立 20 周年を迎え、平成 23 年 10 月 22 日に設立 20 周年記念行事を開催した。

公益社団法人への移行登記の完了と同時に、東北支部（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・新潟県）を新規に設置した。

以上